

# だんだん～ありがとう～

Vol.12



(有)西原石材興業  
(0897)86-2731

「だんだん」とは、伊予弁で「ありがとう」という意味です。みなさまとのご縁に感謝をこめて・・・「だんだん」

平成から令和にこの時に居合わせた私たち、運命的なものを感じずにはおれません。

この新しい時代を平和で夢の持てる時代にしたいものです。

この度、世界遺産仁和寺(京都)の観音堂修復落慶記念が行われ、縁あって参列する機会を得ました。

御室派総本山仁和寺は888年に創建、本尊は阿弥陀如来、開基は宇多天皇、以来皇族が住職を務める門跡寺院となり他に類を見ないお寺だそうです。

国宝や重要文化財、見事な庭園等を有する歴史あるお寺の一つです。

観音堂(重要文化財)は928年頃に造営されたと伝えられております。

その後、応仁の乱等幾度も火災で焼失し現在の建物は江戸時代初期1640頃に再建された物です。宝物は他の場所に移していたので焼失を免れたそうです。

373年ぶりに平成12年より6年間をついやし修復が行われました。

重要文化財なので出来るだけ現状の物を再使用するのが基本の様です。

屋根瓦は四枚のみ再使用でそのほかは全て取り換えたそうです。

一枚でも破損すると雨水が入り込み内部が劣化してしまいます。一枚一枚の瓦が建物を守っているのですよ。とのお話がありました。

人も皆一人一人がかげがえのない存在である事を改めて感じました。

構内には本尊に千手観音菩薩立像その不動明王立像、隆三世明王立像従属として二十八部衆立像が祀られております。

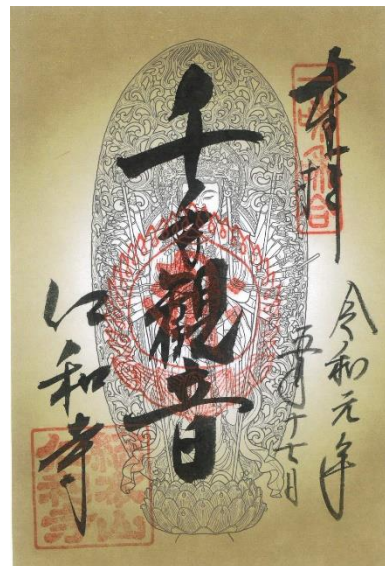
観音堂の内陣には千手観音菩薩立像を囲むように三十三観音菩薩や人が死後に向かうとされる六道の世界が描かれており、厳粛な修行の場所として普段は非公開となっている内部をご案内ご説明頂きました。

普段開放していない事も有り劣化も抑えられ鮮やかな壁画でした。

文化財を残す、継承する何百年、何千年前の匠の技、先人の知恵を現代を生きる我々が見る事が出来る。

なんと素晴らしい事が感動ものでした。先人に感謝。

お時間の取れる方は足を運ばれてはどうでしょうか。



# 頑張ってます！！

先刻、地元の呉服屋さんとお話をする機会がありました。

四十年來のお付き合いがある呉服屋さんで、当時は呉服屋さんも沢山有りましたが現在は数軒に減ってしまいました。我々、石の業界と同様、非常に厳しいとおっしゃっていました。

この呉服屋さんは社長を息子さんに譲りご自分は会長職に、奥様は専務に、娘さん夫婦は昨年、他市に支店をだすなど非常に元気な会社です。

秘訣を聞いてみました。

とにかく一生懸命仕事をしました。

新しい取り組みを積極的に推進しました。

着付けもさせて頂くようにしました。当時は着付け専門の業種があり相当避難されました。

着物を預り管理するシステムを導入しました。

一年目には、お預かり件数500件というハードな目標をかかげ、480件の結果を出しました。

50件や100件の目標や結果ではこの取り組みは失敗に終わると思ったのです。

とにかく一生懸命行動しました。と熱く語られていました。

また、着物を着られる方は殆どの方が写真を撮られるとの事で、

敷地内に写真館を併設し、顧客のニーズに応えるように事業化しました。

そのほか新聞の発行、イベントの企画や情報の発信をまめにしています。

時代の流れを素早く読み取り新しい企画、立案を積極的に展開し、

会長、社長が寝食を忘れて取り組む姿、熱く語る姿は自分の仕事を

愛しているのは勿論、明確な目標と夢が原動力となっているんだなあ

感じたひと時でした。



## にしの日のご案内

【これまでのにしの日の様子】

これまでの「にしの日」にもたくさんの方々が  
お越しくださいました。  
終活サポート協会より講師をお迎えし、「終活セミナー」を  
開催したり、お楽しみ抽選会やお茶会を行いました。  
これからもみなさまのお役に立てる楽しい企画をたくさん  
開催していきたいと思っております。  
6月も下記の通り開催いたしますので、  
ぜひみなさま揃ってお越しください。  
職員一同、お待ちしております。

日時：令和元年6月30日(日)

8:30～16:00

場所：(有)西原石材興業 仁江工場

お楽しみ企画は、「終活セミナー」を考えております。  
詳しくは後程ご案内させていただきます。



終活セミナーの様子

普段なかなか聞けない『終活』の疑問にも  
お答えいただきました。

楽しいお茶会の様子

みなさまの憩いの場にな  
れば嬉しいです。



お問い合わせ・資料請求等はお気軽に  
(0897)86-2731

HPからもアクセスいただけます。

<http://www.nishihara-sekizai.com>